

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年7月23日

都道府県知事
内堀 雅雄 殿

提出者
 住 所 福島県郡山市日和田町高倉字下杉下1番地の1
 氏 名 株式会社東北村田製作所
 代表取締役社長 有東 哲郎
 電話番号 024-958-3811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、
度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

2023年

事業場の名称	株式会社東北村田製作所 本宮工場
事業場の所在地	福島県本宮市本宮字樋ノ口2番地
事業の種類	電気機械器具製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

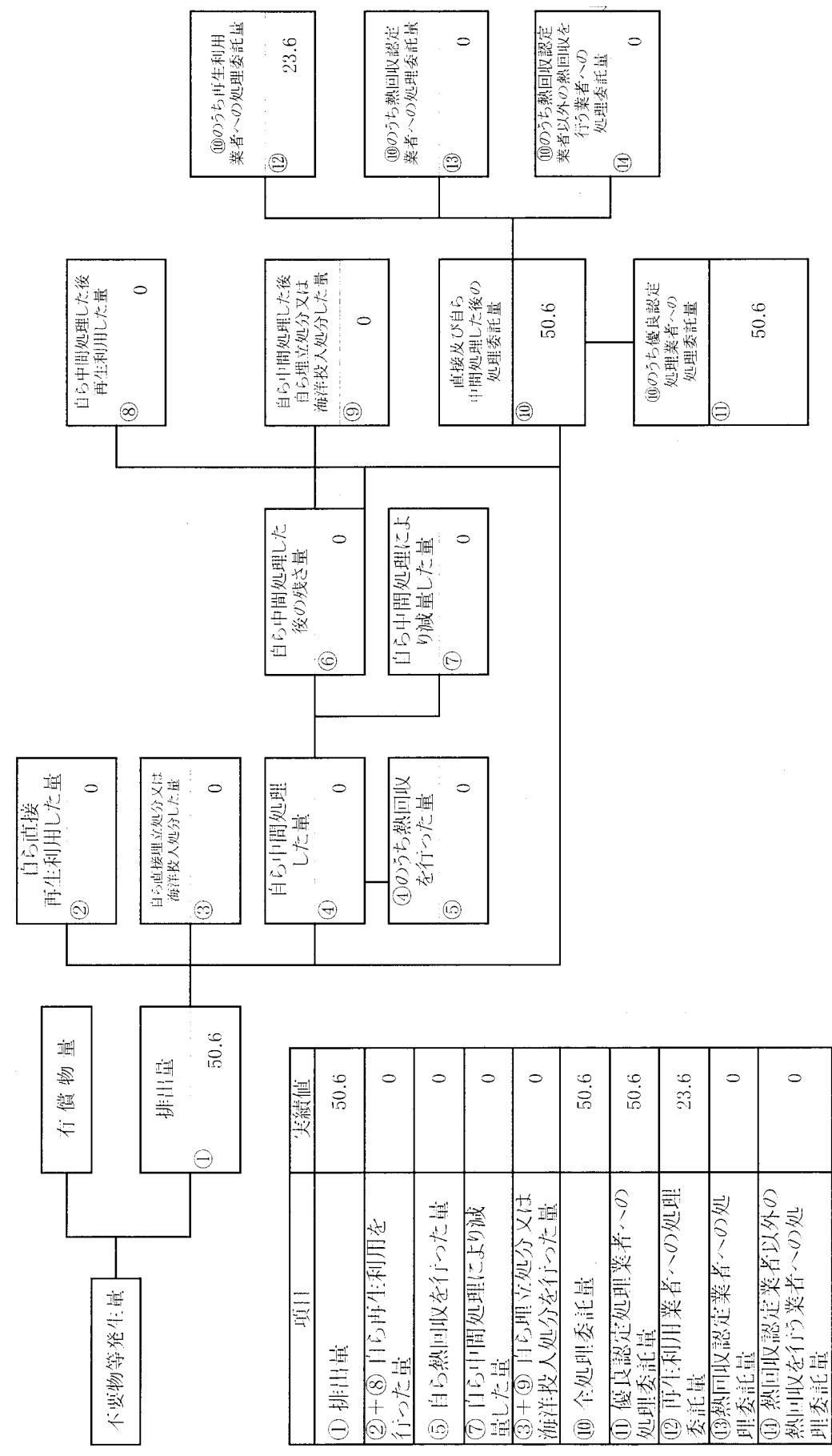
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,172 t	全処理委託量	1,172 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	944 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	1,172 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(02000000))

)



(第2面)

計画の実施状況

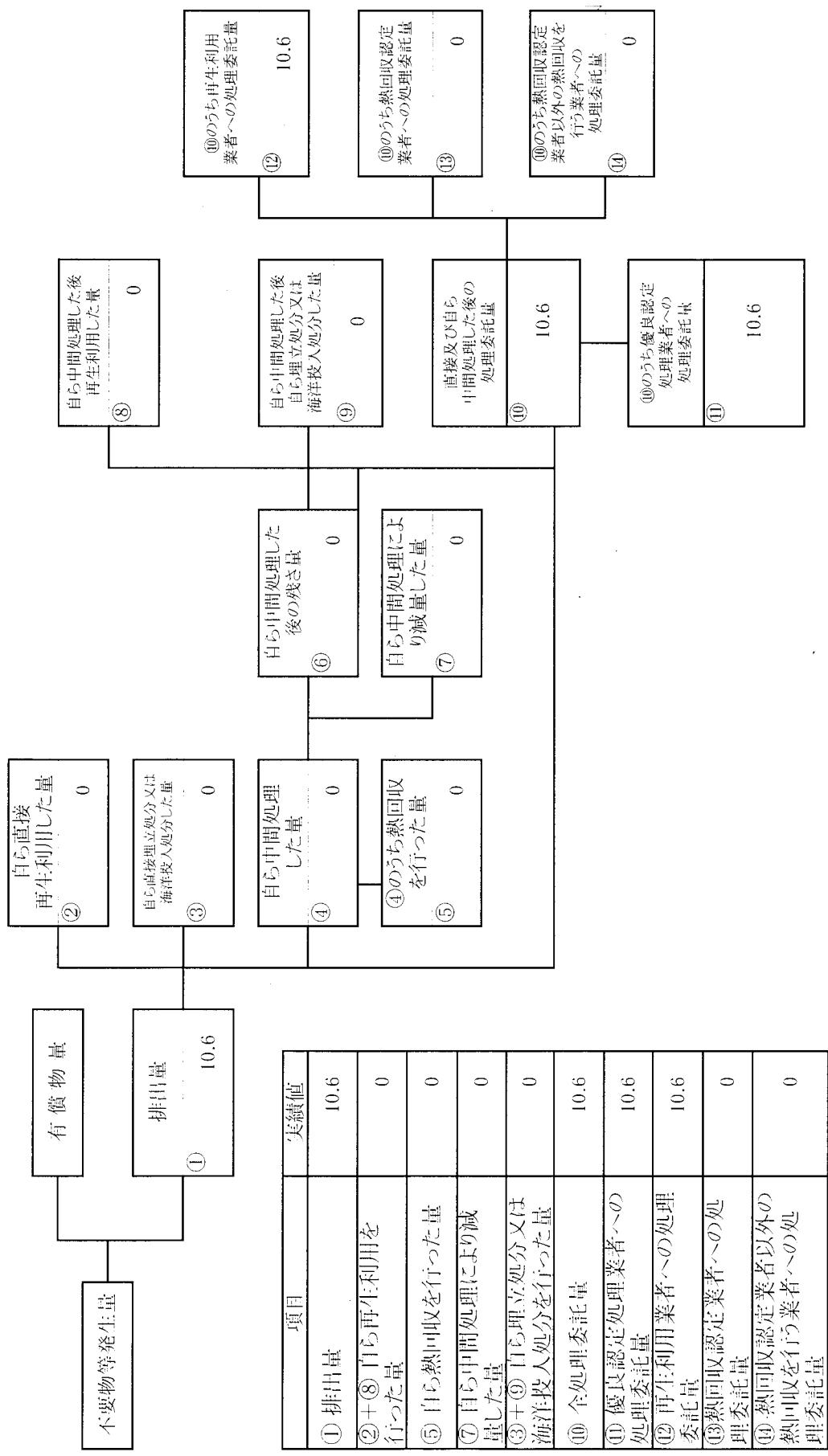
(産業廃棄物の種類： 有機性汚泥(0210000))

① 排出量	15.3
② 再生利用した量	0
③ 自ら直接立入処分又は海洋投入処分した量	0
④ 自ら中間処理した量	0
⑤ ④のうち熱回収を行った量	0
⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	0
⑦ 自ら中間処理による減量した量	0
⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	0
⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	15.3
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	15.3
⑫ 再生利用業者への処理委託量	15.3
⑬ 热回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 热回収をを行う業者以外の処理委託量	0
⑮ ⑩のうち熱回収認定業者以外の処理業者への処理委託量	0
⑯ ⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑰ ⑫のうち再生利用業者への処理委託量	15.3
⑱ ⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑲ ⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	15.3

(第2面)

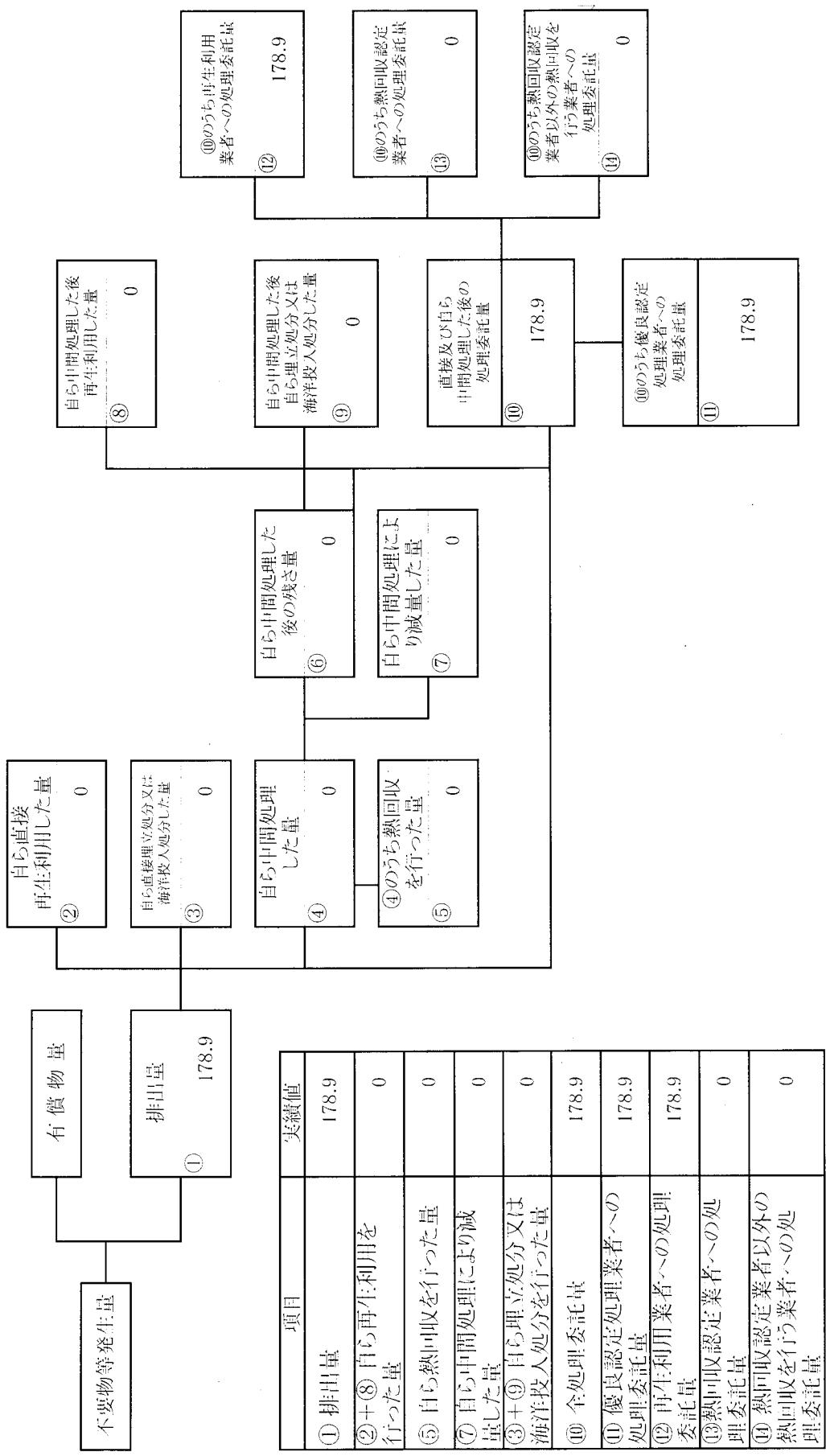
清·[西]J.O.美施状况記

(產業廢棄物)種類： 廢油(0300000)



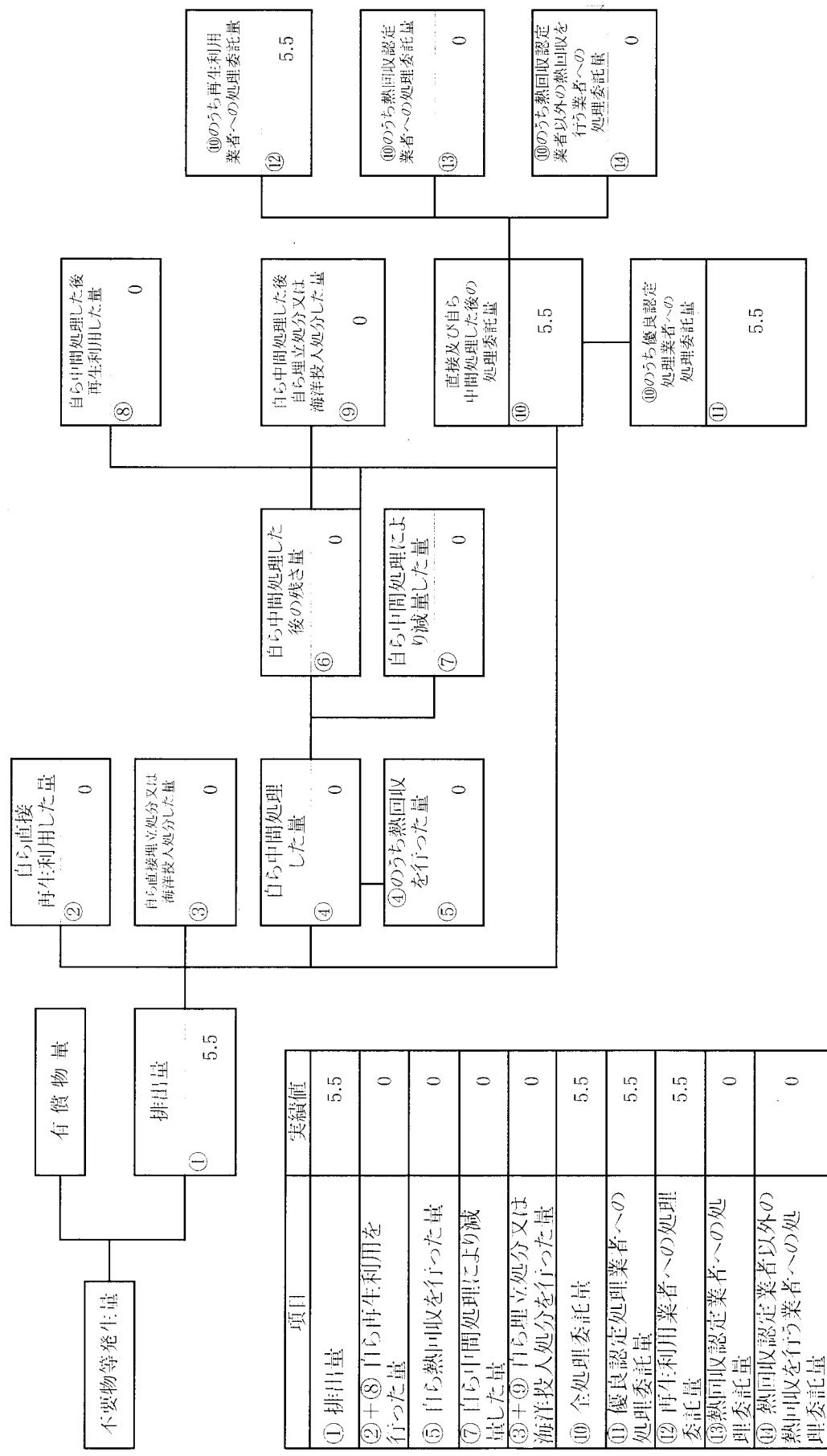
計上山川之施狀況

(産業廃棄物の)種類： 廃油(0311000)



計画の実施状況

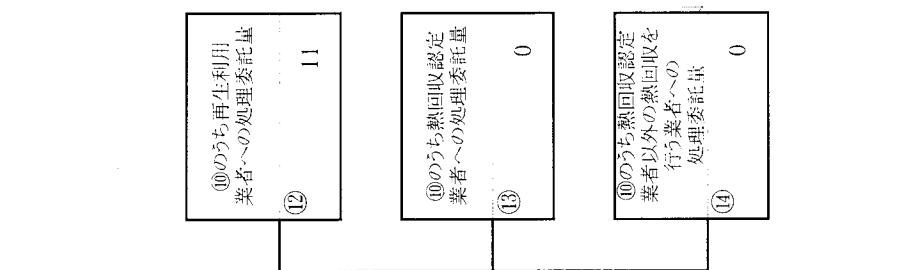
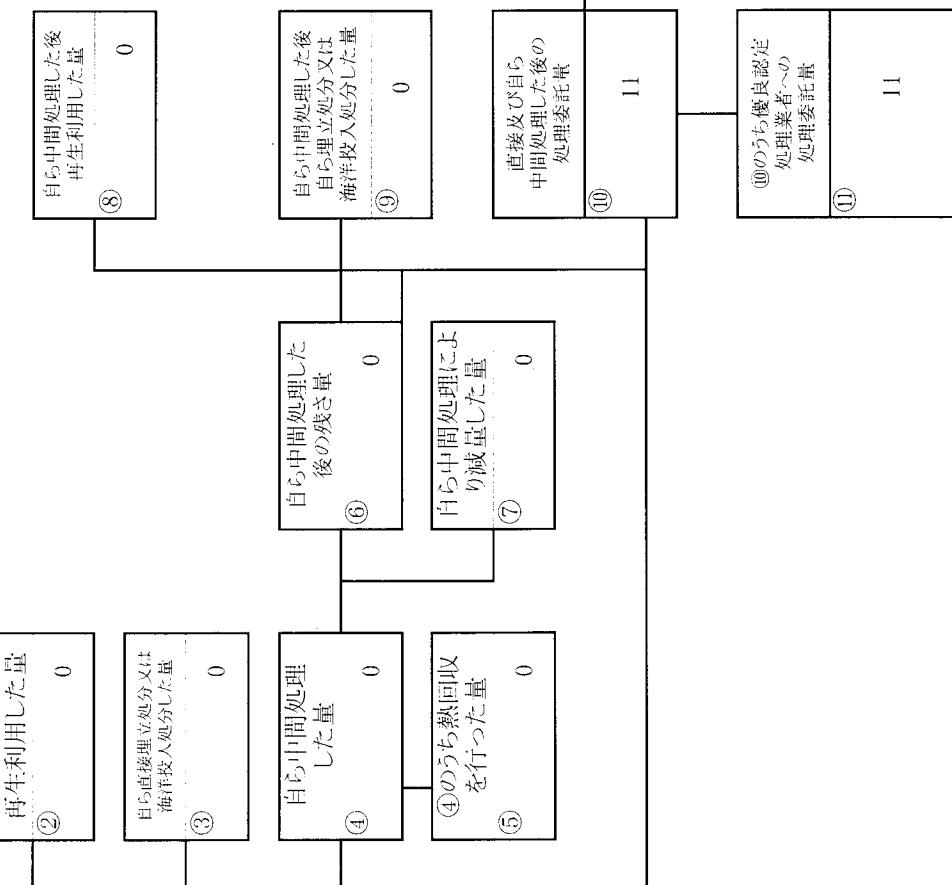
(産業廃棄物の種類 : 廃溶剤(032000))



計画の実施状況

(産業廃棄物)種類： 廃酸(0400000)

項目	実績値
① 排出量	11
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤ 自ら熱回収を行った量	0
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海上投入処分を行った量	0
⑩ 全処理委託量	11
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	11
⑫ 再生利用業者への処理委託量	11
⑬ 熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭ 熱回収を行う業者への処理委託量	0

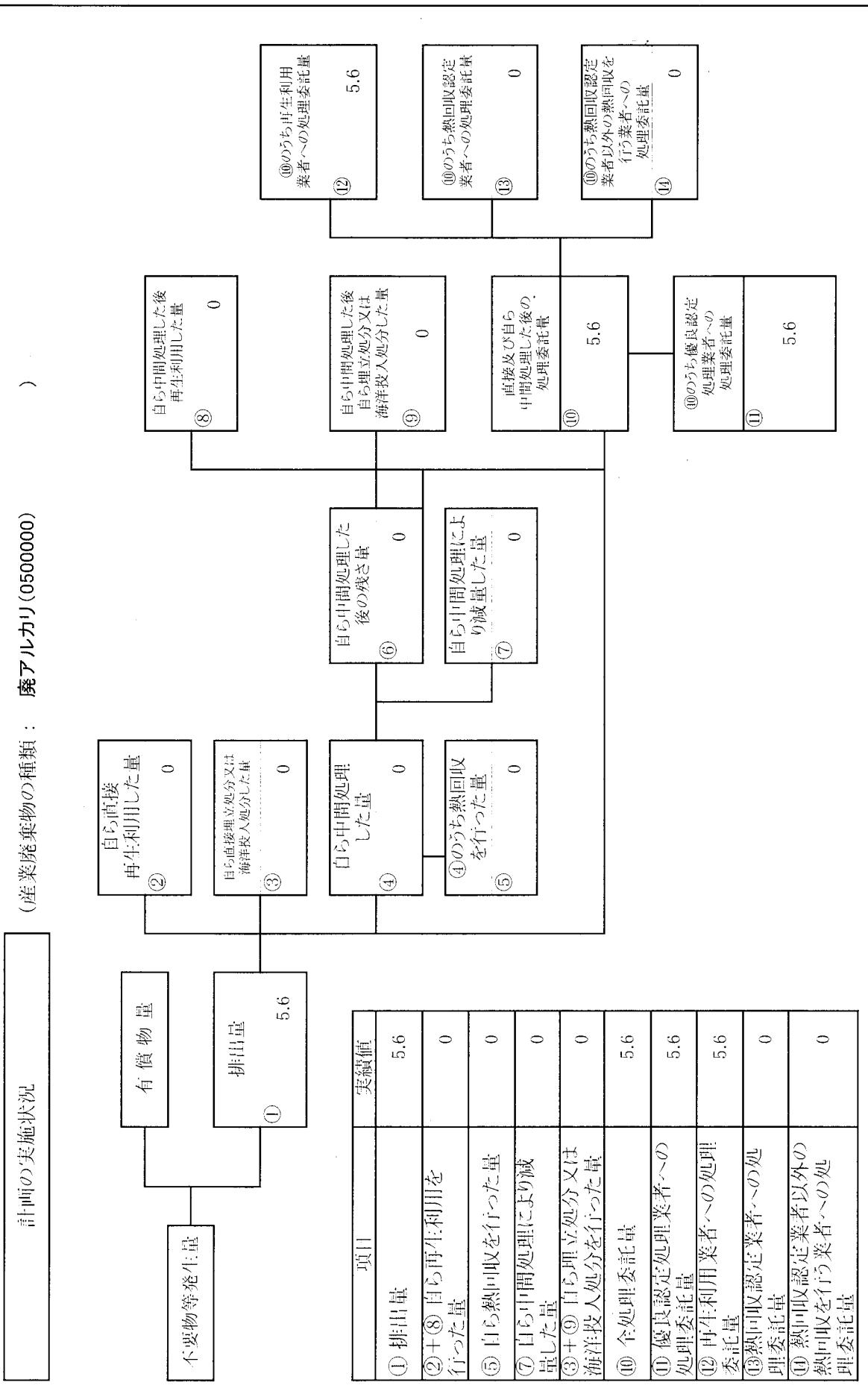


(第2面)

計画の実施状況

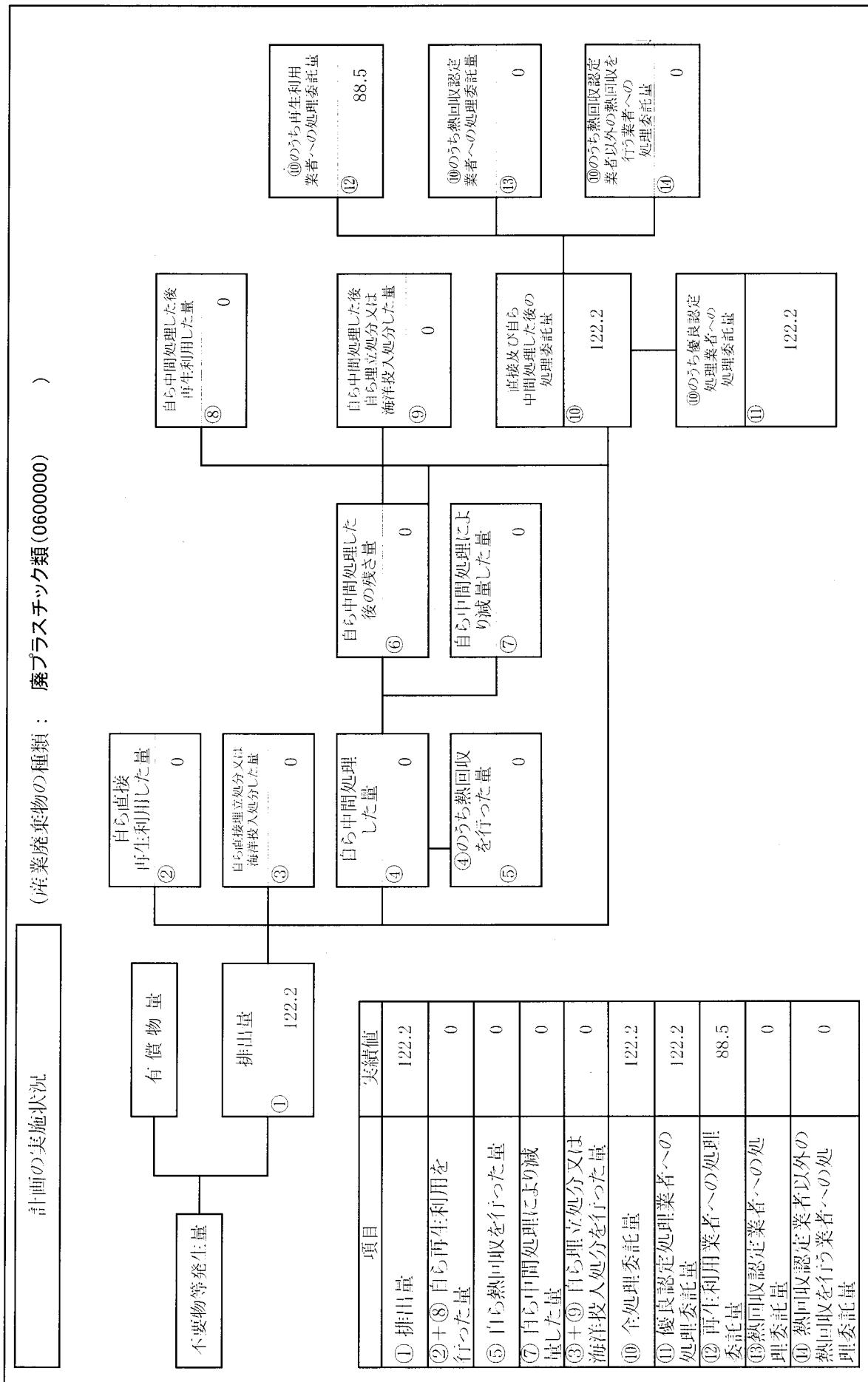
(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ(05000000))

)



計画の実施状況

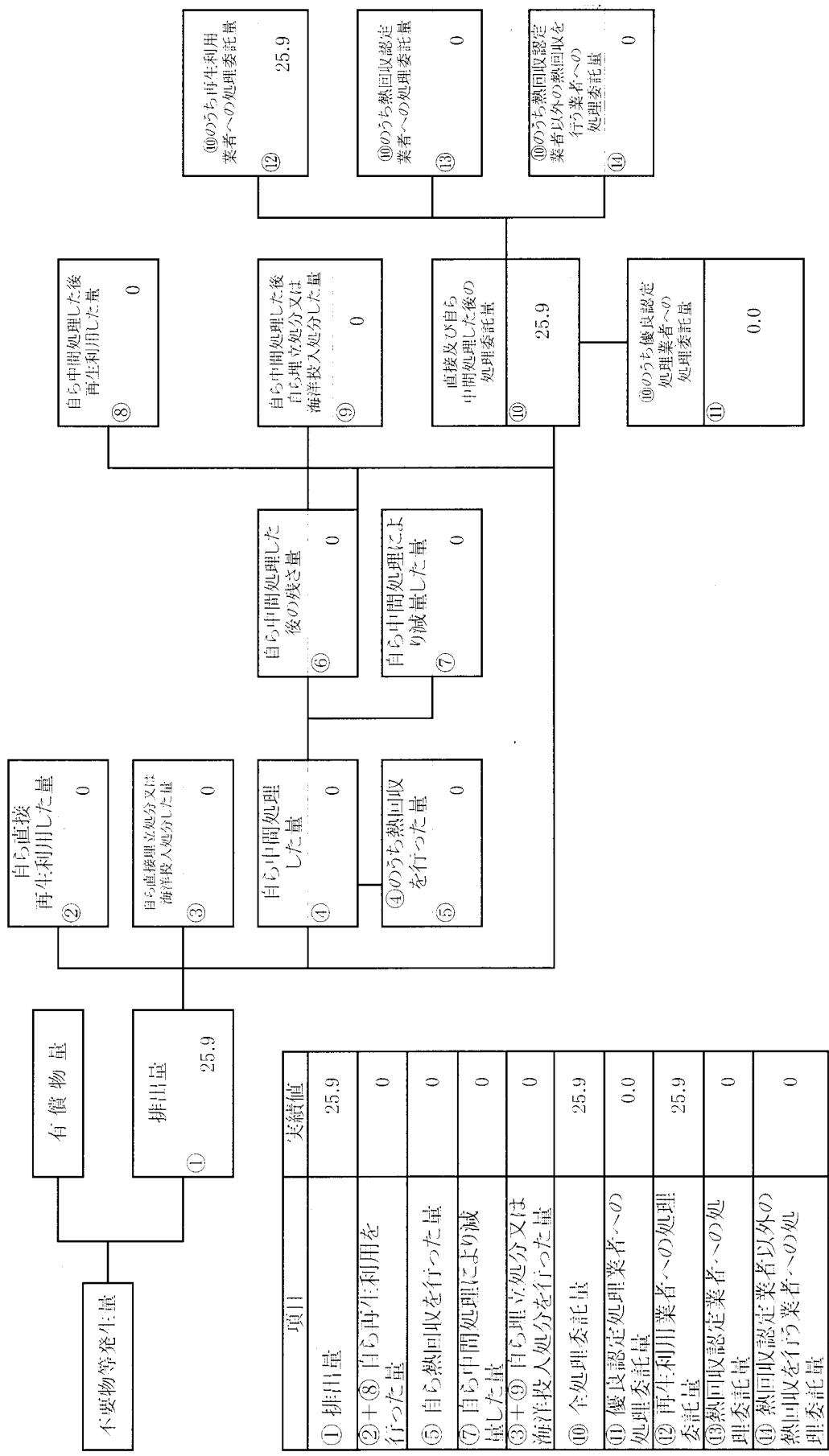
(事業废弃物の種類： 廃プラスチック類(06000000))



計画の実施状況

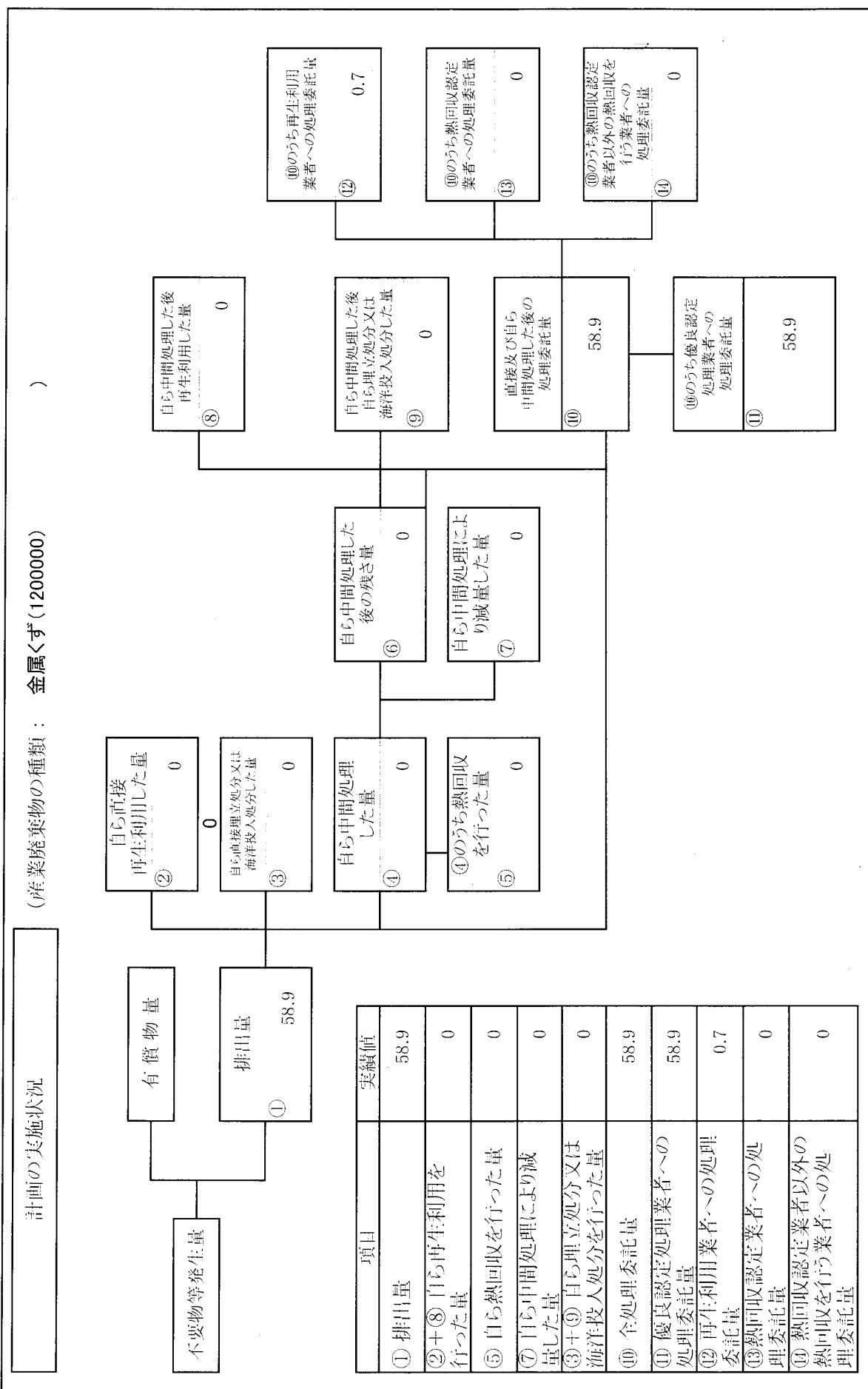
(産業施設兼物の)種類： 木くず(08000000)

1



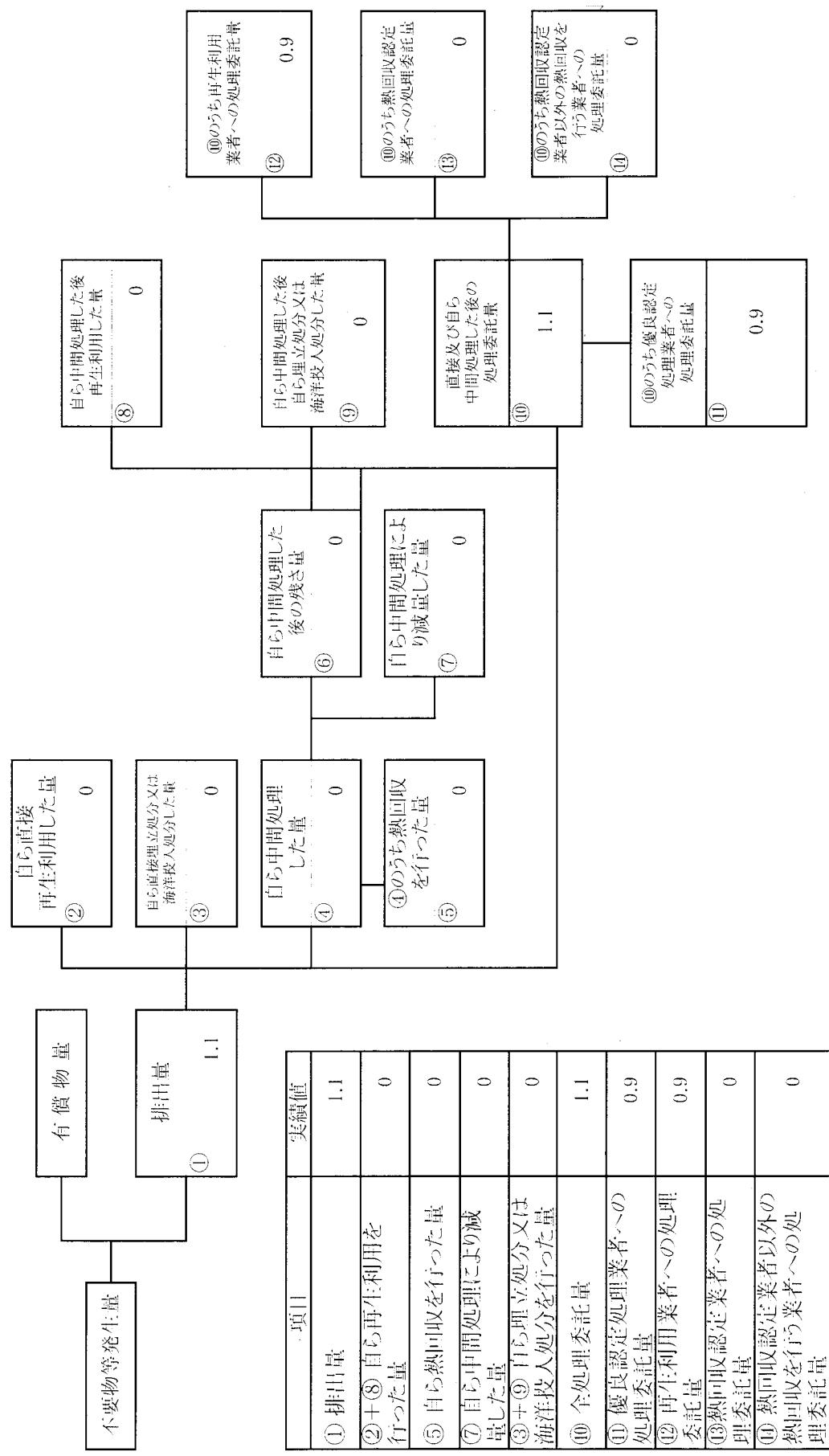
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず(1200000))



言葉の美術大沙文

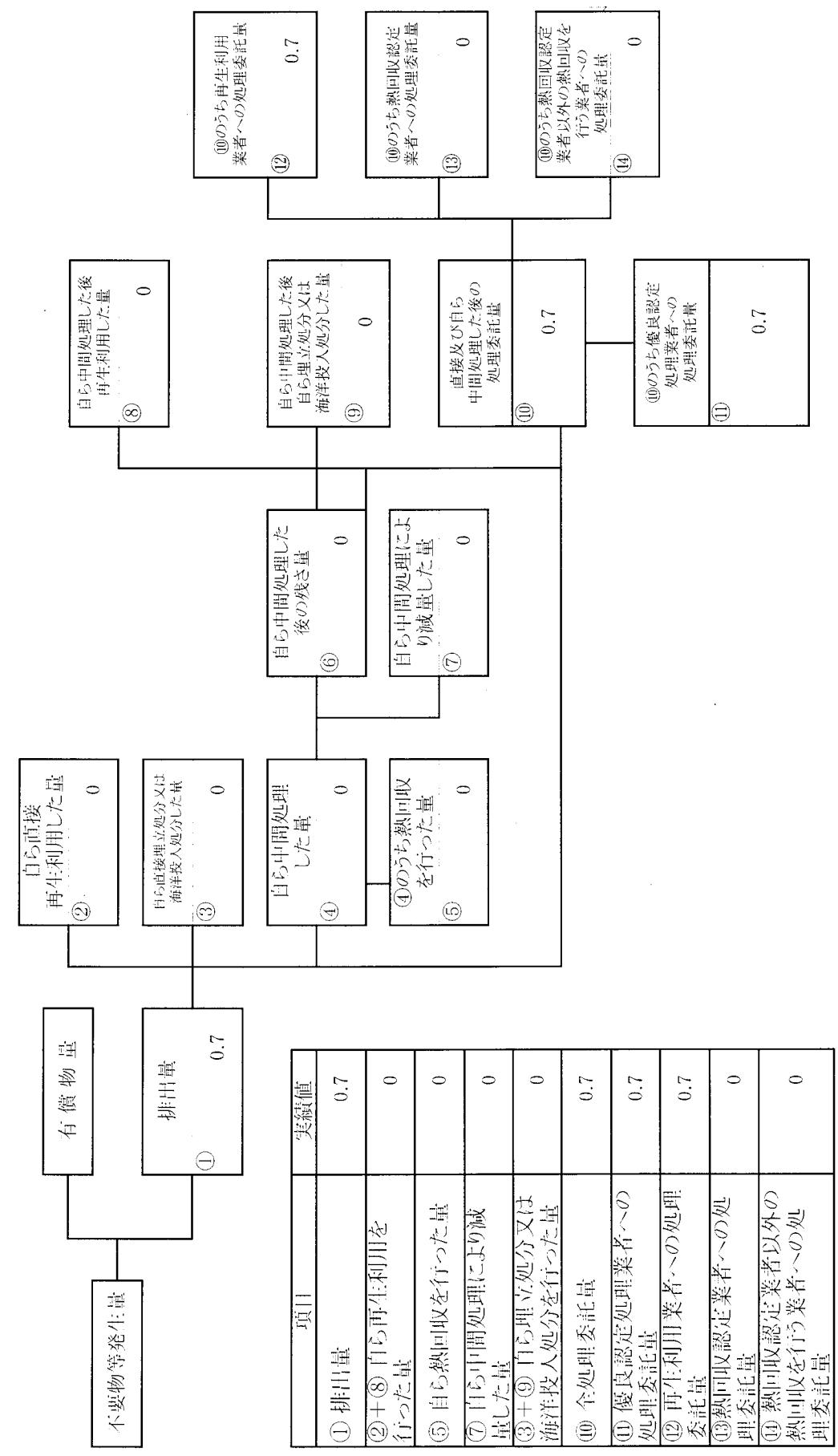
(産業廃棄物の種類：ガラスくず¹³⁰⁰⁰⁰⁰⁰)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 水銀使用製品25220)

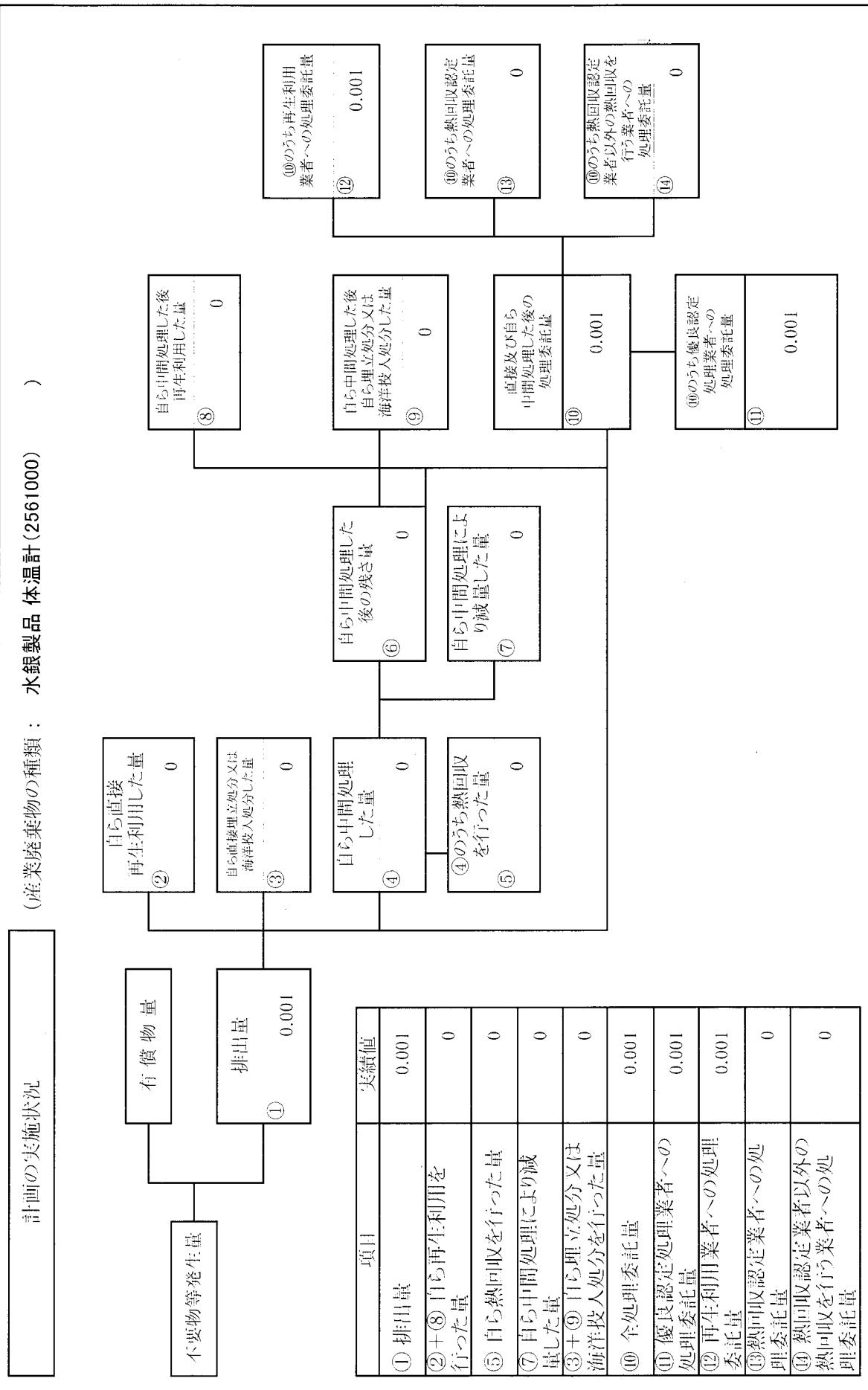
)



(第2面)

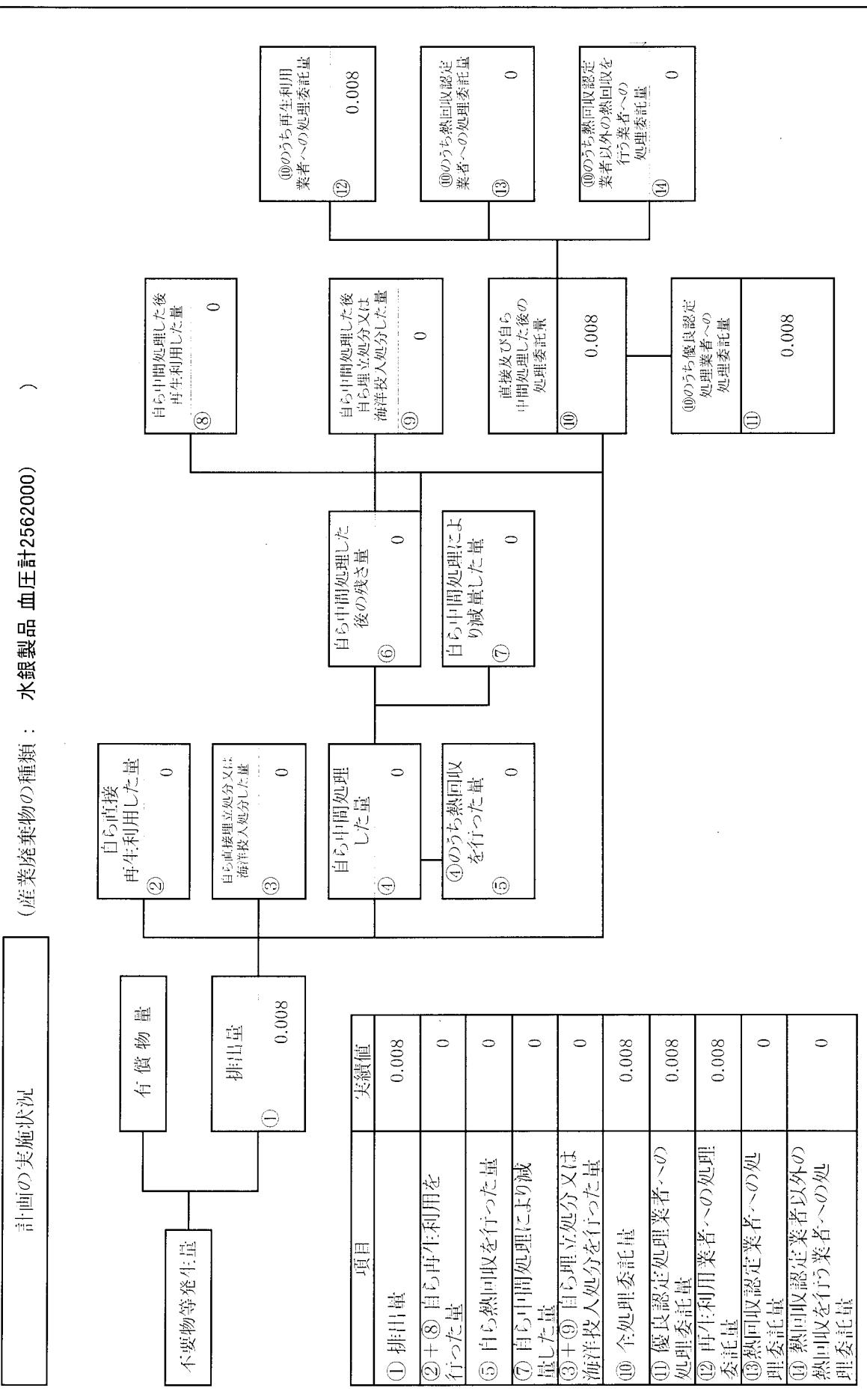
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 水銀製品 体温計(2561000))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 水銀製品 血圧計25620000)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。